

EF65（永末DCC仕様）		
ファンクション	動作	
F0	前照灯	
F1	テールライト	
F2	ホイッスル	←消すときはもう1回押す
F3	ブレーキエアー	
F4	ATSベル	
F5	連結動作	
F6	ブロアー始動	←音が鳴らないときはココから。
F7	入換標識灯	
F8		
F9		
F10		
F11		
F12	単弁ブレーキエアー	
F13		
F14		
F15		
F16		
F17		

【詳細な操作方法】
1. F6ボタンで、ブロワーが始動します。
2. F0ボタンで、前照灯が点灯します。機関車が停止しているときは、減光状態になっています。
3. 単機運転であれば、F1ボタンでテールライトが点灯します。
4. もし入換標識灯にしたい場合には、F7ボタンを押します。
5. これで運転準備ができました。
6. F2のボタンでホイッスルがなります。押し方で、長短ホイッスルの表現を行います。
（以下裏面へ）

7. スロットルを上げます。
8. 前照灯が明るくなるとともに、ブレーキエアーが抜ける音がします。
9. スロットルをあげる前にF3を押すと、ブレーキエアー音が単独で鳴らせます。この場合、スロットルをあげると同時に動かすことができます。重連運用のときに、有用です。
10. 吊り掛け音とともに加速を始めます。
11. 速度が上がるとともに吊り掛け音も変化していきます。
12. 所定の速度になったところで、スロットルを少し戻します。
13. 吊り掛け音が途切れるとともに、惰行運転状態となります。
14. 実車であれば徐々速度が落ちてくるのですが、デコーダの機能により一定の速度で走り続けますから、少しずつスロットルを絞っていくと実感的になります。
15. F4=onで、ATSが起動して「ジリリリ…」 ここで F4=off で「キンコンカンコン…」 再度 F4=onにしてからF4=off でATS停止します。
F4=onのままだでも、一定期間後にATSは停止します。
A T S が作動中にタイホンを鳴らすと、ATSは停止します。
16. 再加速をするために、スロットルを少し上げます。再度、吊り掛け音が力行状態になります。
17. 十分速度を落として、停車駅に進入します。
18. F12ボタンで、単弁のブレーキエアーの排気音が出ます。
19. 停止直前になると、ブレーキのスキール音が鳴り始め、完全停車となります。
20. ときどき、コンプレッサーが動作します。
21. 連結操作をする場合には、客車や貨車の直前（枕木1.5本分程度）で一旦停車します。
22. F5ボタンを押すと、自動的に移動して、連結音とともに停止します。